

# Intersight Hyperflexのインストールのトラブルシューティング

## 内容

---

### [概要](#)

### [前提条件](#)

#### [要件](#)

#### [使用するコンポーネント](#)

### [背景説明](#)

### [問題](#)

### [解決方法](#)

#### [到達不能なDNS/NTP](#)

#### [vCenterに到達できない](#)

#### [Duplicate IP](#)

#### [ホストへの接続に失敗しました](#)

#### [自動要求に失敗しました](#)

#### [サーバプロファイルの関連付けの設定に失敗しました](#)

#### [「Failed in Task: Monitor OS Boot」\(タスク: OSブートのモニタ\)が表示される](#)

#### [失敗したタスク: Sha1に対するOVAの確認](#)

#### [失敗したタスク: vCenterクラスタへのホストの追加](#)

#### [タスク「Failed in Task: Network Storage Controller VM Configuration Failed」](#)

#### [MTUの問題が原因でワークフローが失敗する](#)

#### [失敗したタスク: ストレージコントローラVMへのソフトウェアパッケージのコピー](#)

### [関連情報](#)

---

## 概要

このドキュメントでは、Intersightを介したHyperflexクラスタ導入の一般的なトラブルシューティングシナリオについて説明します。

## 前提条件

### 要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- Intersight
- Hyperflexクラスタの導入

### 使用するコンポーネント

このドキュメントの内容は、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

## 背景説明

Intersightインストーラワークフローは、図に示されているタスクに従ってHyperflexクラスタを導入します。

タスク名	定義
PreparePreClusterInfoTask	クラスタの展開に必要な情報を含む構成ファイルを生成します（構成ファイルパス、ソフトウェアYAMLファイルなど）。
ServerConfigurationValidationTask	UCSサーバの構成を検証し、必要なハードウェアおよびファームウェアの構成（ディスクサイズ/PIDの検証、正しいNICなど）が揃っていることを確認します。
構成前検証タスク	サーバ設定が開始される前にネットワーク設定を検証します（DNS、NTP、vCenterの到達可能性、重複IPチェックなど）。
PrepareLocalImageReportTask	ソフトウェアイメージ（コントローラVM OVA、hxdpパッケージ）をローカルイメージストアにダウンロードします。このタスクは、接続されたアプライアンス環境で実行される場合にのみワークフローに含まれます。
サーバー構成タスク	UCSサーバで必要な設定を実行します。FI接続された導入の場合、これにはサービスプロファイルの作成と関連付けが含まれます。

ハイパーバイザEsx構成タスク	ハイパーバイザのネットワーク部分を設定します。これには、Serial over Lan(SOLAN)を使用して管理vSwitchにアップリンクを追加し、IPアドレス、ホスト名、およびDNS/NTP設定を設定することが含まれます。
PreDeployValidationTask	クラスタの導入を開始する前に検証を実行します。検証には、ネットワーク到達可能性のチェックや、ノードが別のクラスタに属していないことの検証が含まれます。
PrepareHypervisorDeploymentタスク	ハイパーバイザをコントローラ仮想マシン(VM)構成用に準備します。ESXiからホスト情報を取得し、適切なOSパラメータが設定されていることを確認します。
ハイパーバイザネットワーキングタスク	ESXiホストのネットワーク部分を設定します。クラスタの動作に必要な、ホスト上のさまざまなvSwitch/ポートグループの設定が含まれます。
ハイパーバイザソフトウェア更新タスク	ハイパーバイザ上のソフトウェアを更新します。ハイパーバイザは、必要に応じてホスト上の必要なVIBで構成されます。
ハイパーバイザデータストアタスク	必要に応じて、コントローラVMのデータストアを作成します。
HyperflexControllerVmの導入	必要に応じて、ストレージコントローラOVAをハイパーバイザに導入します。
ConfigVmTask	コントローラVMのネットワーク部分を設定します。これには、必要なパラメータとデータ/管理ネットワークの設定が含まれます。
ソフトウェアVmTaskの展開	コントローラVMにHXDPパッケージをインストールします。
CollectNodeInfoTask	UUIDやIPなどのノード情報を収集します。

CollectInventoryDataTask	インベントリデータをコントローラVMに送信します。
CreateClusterValidationTask	検証を実行して、コントローラVMがクラスタに参加する準備ができていることを確認します。MTUチェックを含み、ストレージサービスの準備が整っていることを確認します。
作成クラスタタスク	ストレージクラスタを作成し、コントローラVMをクラスタ内のすべてのノードに結合します。
PostInstallHostConfig	クラスタの展開後にホストを構成します。Hyperflexクラスタプロファイルで指定された新しいパスワードへのESXiパスワードの変更を含みます。
PostInstallStorageControllerVmConfig	クラスタの導入後にコントローラVMを設定し、Hyperflexクラスタプロファイルで提供される新しいパスワードへのコントローラVMパスワードの変更を含めます。
クラスター自動要求タスク	HyperFlexクラスタをIntersightユーザアカウントに要求します。

## 問題

クラスタ展開で発生する可能性がある一般的なエラーを次に示します。

検証エラー/警告：

- IPの重複 ( 同じFabric Interconnectでのエラー、グローバルにオーバーラップしている場合は警告 )
- 2ノードクラスタの作成
- レプリケーション係数として2(データ・レプリケーション係数として3を推奨)

ランタイム検証：

- DNS、NTPに到達できない
- vCenterに到達できないか、クレデンシャルが正しくない

- すでに使用されている管理IPアドレス

導入エラー :

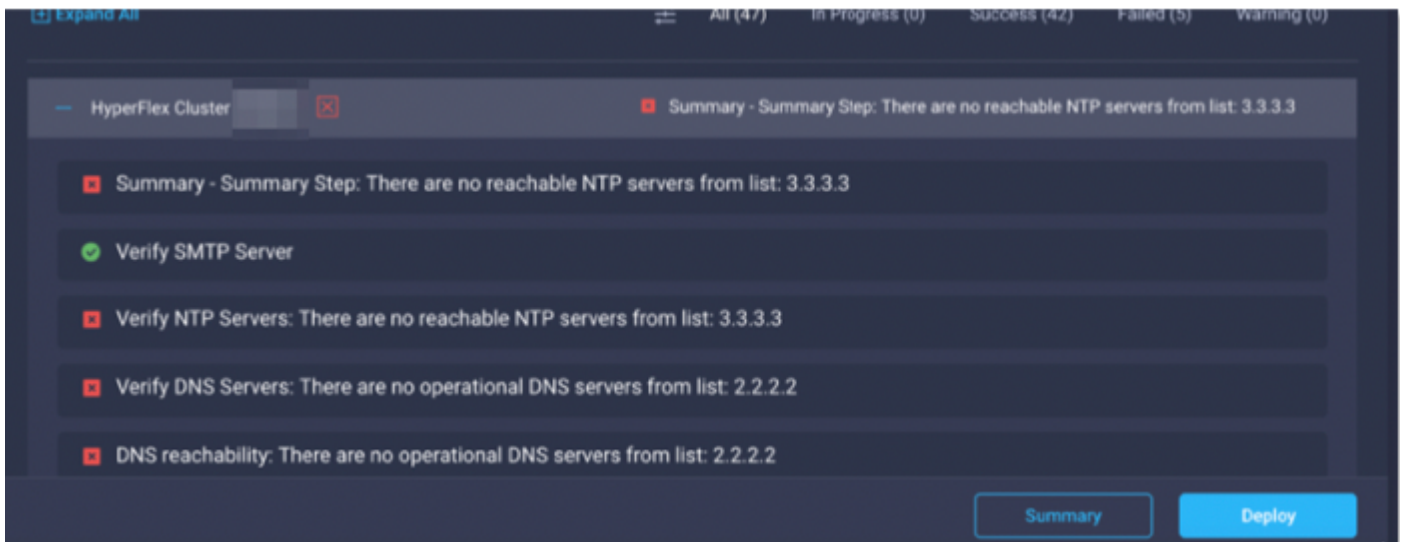
- 同じL2ドメイン内の2つの異なるクラスタに対して同じデータVLAN ( アップリンクスイッチ )
- クロスオーバーリンク
- ESXi IP設定の失敗 ( ESXiクレデンシャルが正しくないことが原因 )

## 解決方法

失敗したタスクと発生したエラーに基づいて、推奨されるアクションを実行できます。

### 到達不能なDNS/NTP

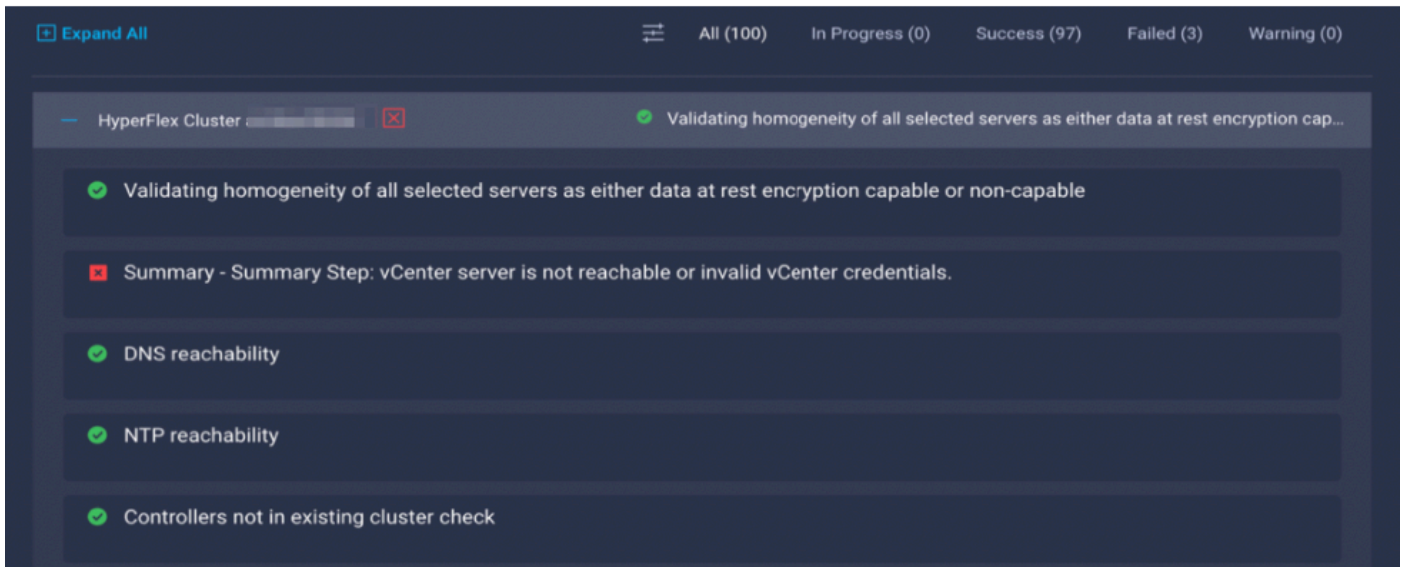
Validator\_NTP\_List, Status Code: 9 (FAILED), Message: There are no reachable NTP servers from list



アクション : IPを確認し、誤っている場合はポリシーを変更して、ワークフローを再起動してください。

### vCenterに到達できない

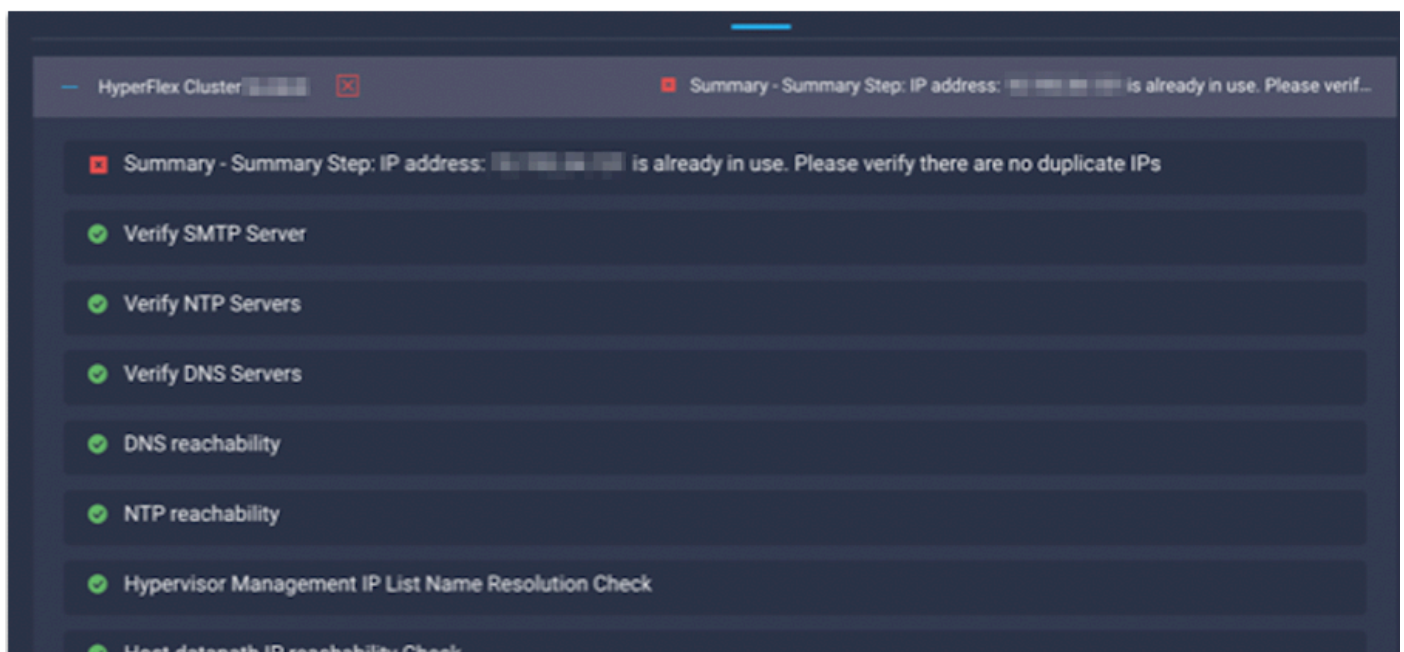
"vCenter reachability and credential check : vCenter server is not reachable or invalid vCenter credential"



アクション：vCenter IPまたは資格情報が正しくない場合は、ポリシーを変更してワークフローを再起動してください。

## Duplicate IP

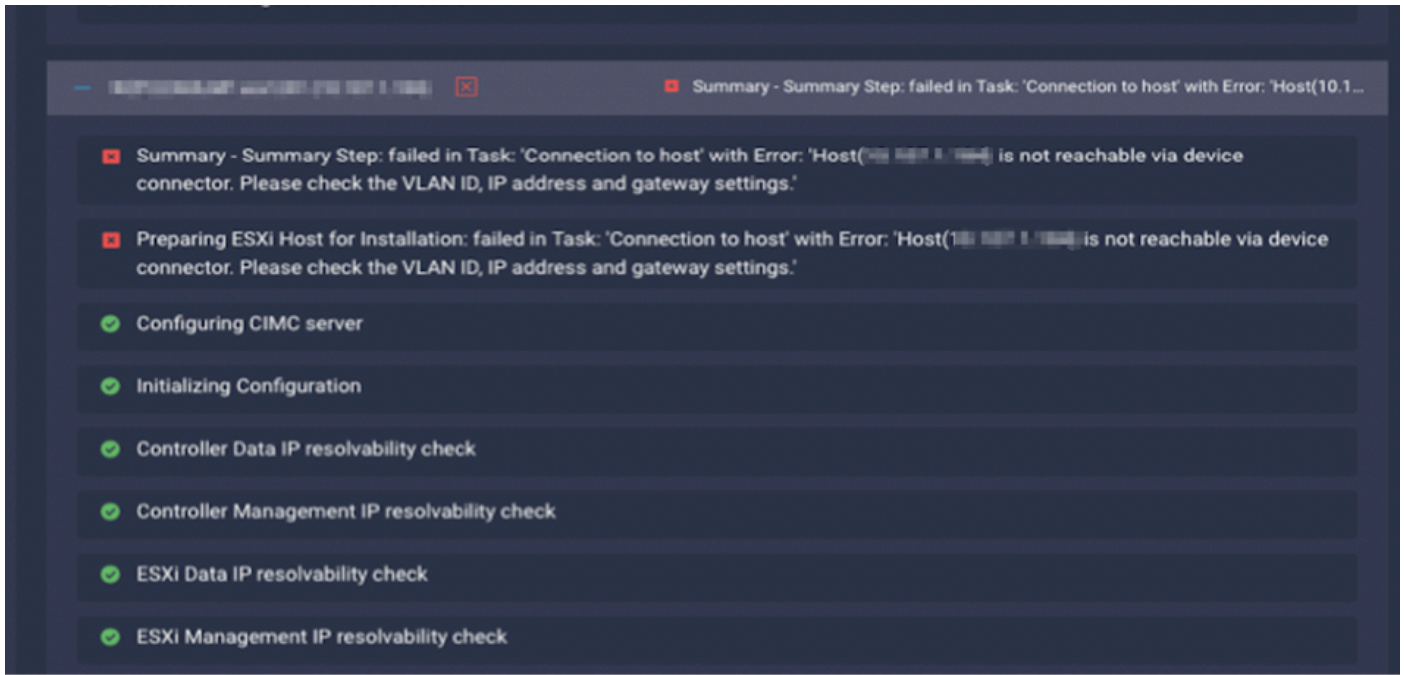
“IP address x.x.x.x already in use. Please verify there are no duplicate IPs.”



アクション：IPがすでに使用されているかどうかを確認し、使用されている場合はポリシーを変更してワークフローを再起動してください。

## ホストへの接続に失敗しました

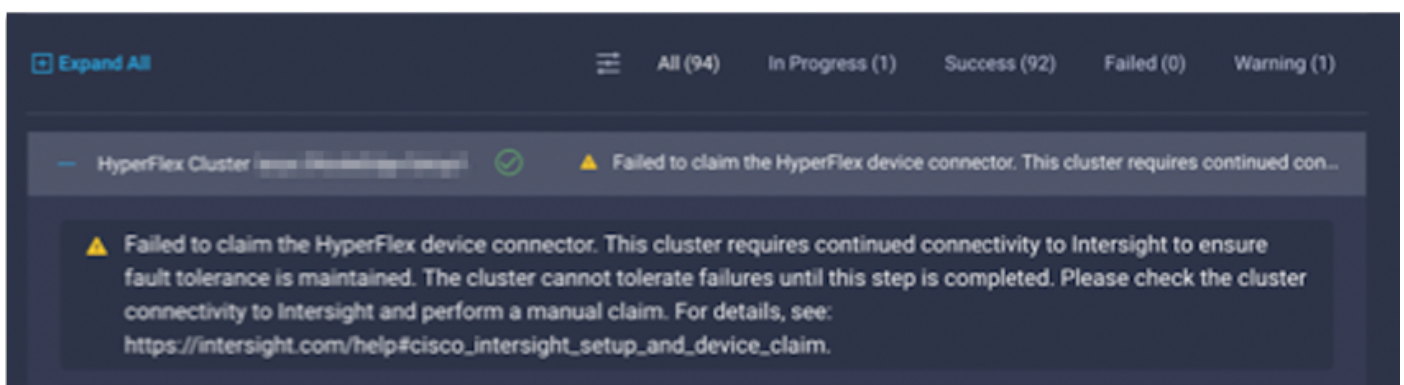
failed in Task: 'Connection to host' with Error: 'Host(x.x.x.x) is not reachable via device connector. Please check the VLAN ID, IP address and gateway settings.'



アクション : VLAN/IP/ゲートウェイを確認します。正しくない場合は、ポリシーを変更して、ワークフローを再起動します。

自動要求に失敗しました

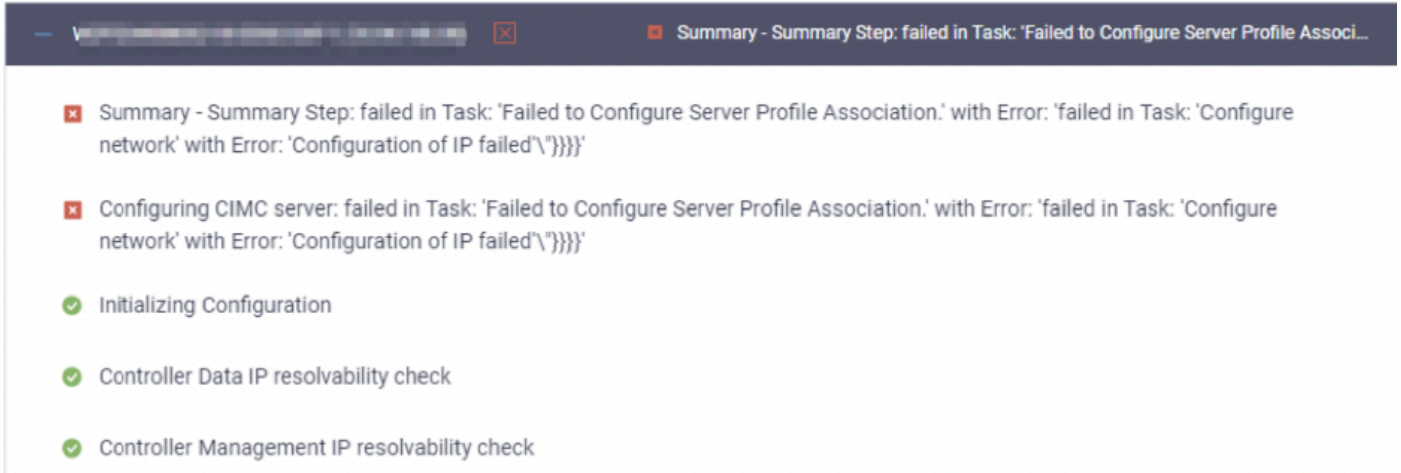
"failed to claim the HyperFlex device connector.  
This cluster requires continued connectivity to Intersight to ensure Fault Tolerance is maintained.  
The cluster cannot tolerate failures until this step is completed. Please check the cluster connectivity to Intersight and perform a manual claim. For details, see: [https://intersight.com/help#cisco\\_intersight\\_setup\\_and\\_device\\_claim](https://intersight.com/help#cisco_intersight_setup_and_device_claim).



アクション : デバイスの[要求手順](#)に示されているHyperFlexクラスターを要求し、ワークフローを再起動します。

## サーバプロファイルの関連付けの設定に失敗しました

failed in Task: 'Failed to Configure Server Profile Association

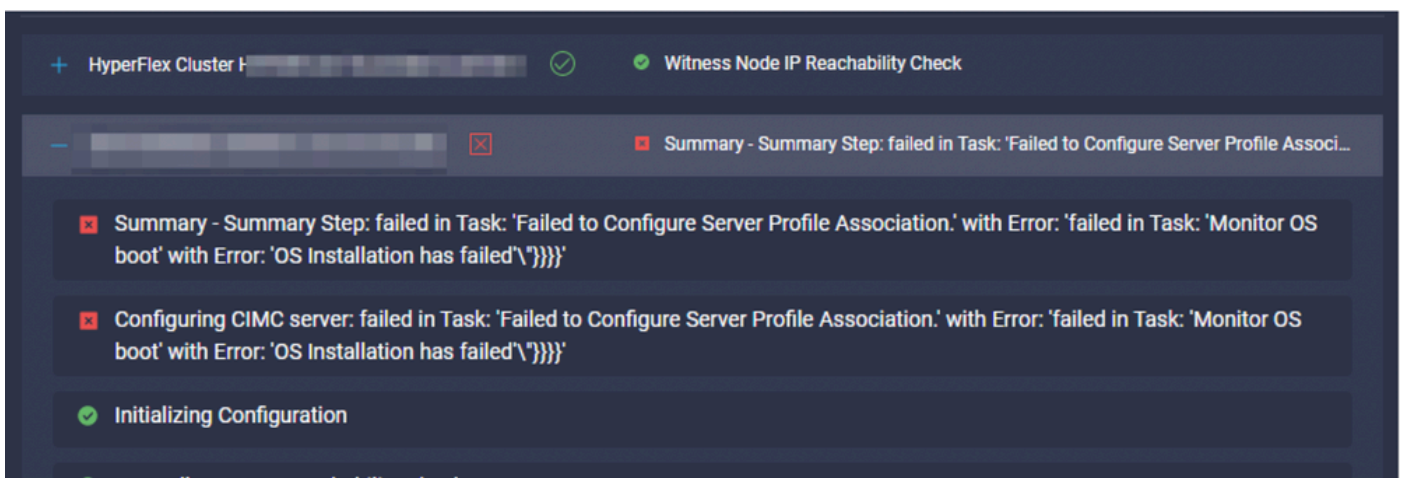


Action:

ESXi IPの設定は、CIMC Serial over LAN経由のコンソールアクセスによって行われます。CIMC SoLがコンソールのログインプロンプトの取得に失敗する場合があります。KVM経由でESXiへのCIMCコンソールを確認し、CIMCをリセットしてワークフローを再起動します。

「Failed in Task: Monitor OS Boot」 ( タスク : OSブートのモニタ ) が表示される

Configuring CIMC server: failed in Task: 'Failed to Configure Server Profile Association.' with Error:



Action:



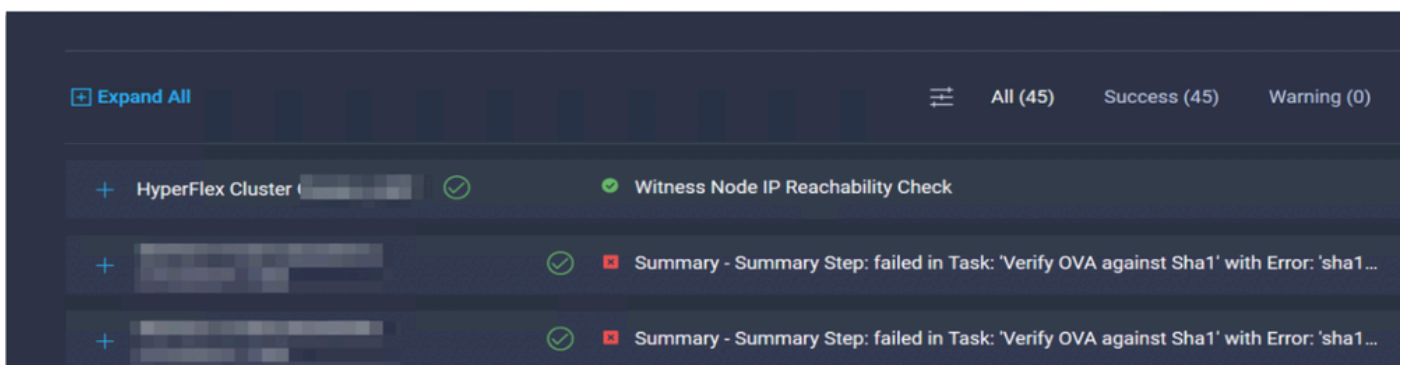
- ESXiルートパスワードが正しいことを確認します。
- 初めてインストールする場合は、工場出荷時のデフォルトパスワードを確認してください。
- 再インストールの場合は、工場出荷時のデフォルトパスワードのチェックマークをはずしてください。
- SoLアクセス障害を確認します。
- OSのブート中にデバイスコネクタが切断されるかどうかを確認します。

新規インストールの場合は、factory default passwordオプションボタンをオンにした後でも、入力したパスワード(Cisco123)がデフォルトのパスワード(Cisco123)ではないことを確認します。

この操作の結果、インストーラはESXiにログインできますが、デフォルトパスワードの強度が弱いいため、パスワードを設定できません

### 失敗したタスク：Sha1に対するOVAの確認

Deploying Storage Controller VM on ESXi host: Failed in Task: "Verify OVA against Sha1"

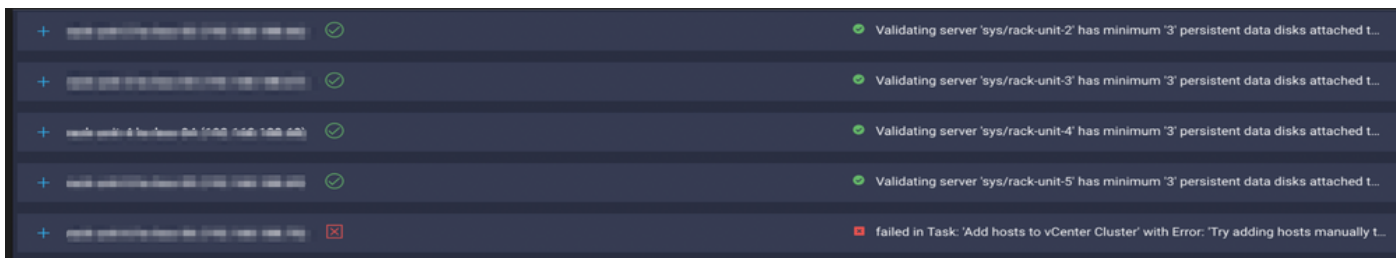


Action:

- ESXiにDNSが設定されていないかどうかを確認します。
- ESXi管理IPサブネットがIntersightアクセスに対してブロックされているかどうかを確認します。

### 失敗したタスク：vCenterクラスタへのホストの追加

failed in Task: Add host to vCenter Cluster with Error: Try adding host manually to vCenter and retry.

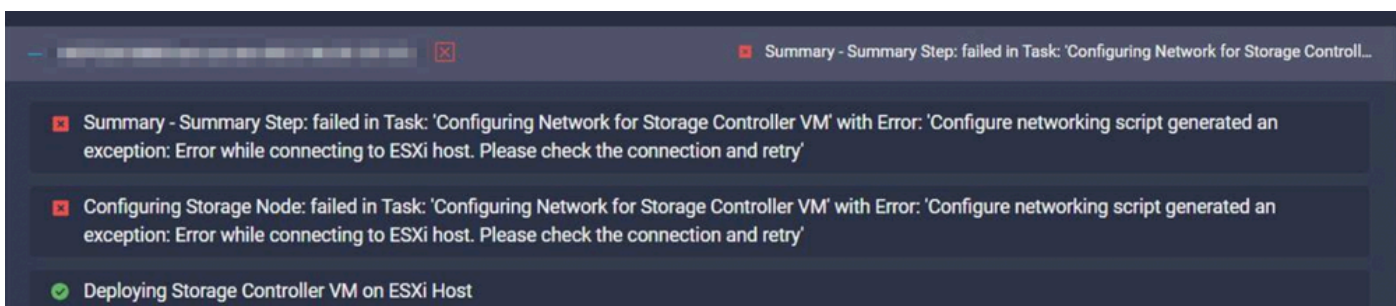


Action:

vCenterのバージョンは、クラスタ内のすべてのホスト以上である必要があります。vCenterをESXiバージョン以上にアップグレードするか、ESXiをより低い安定したバージョンにダウングレードします。

## タスク「Failed in Task: Network Storage Controller VM Configuration Failed」

failed in Task: 'Check Network for Storage Controller VM Configuration Result' with Error: 'Configure n



Action:

EXSI APIサーバは、ときどき時間通りに応答しません。

- hostdサービスのステータスをチェックして、が実行中であることを確認します。
- ESXiを再起動し、導入を再試行します。

## MTUの問題が原因でワークフローが失敗する

failed in Task: 'Verify Storage Cluster' with Error: 'id: 2 entityRef: id: x.x.x.x name: x.x.x cluster  
Verify the VLAN and MTU on the upstream switch is correct prior to continuing. severity: warning'

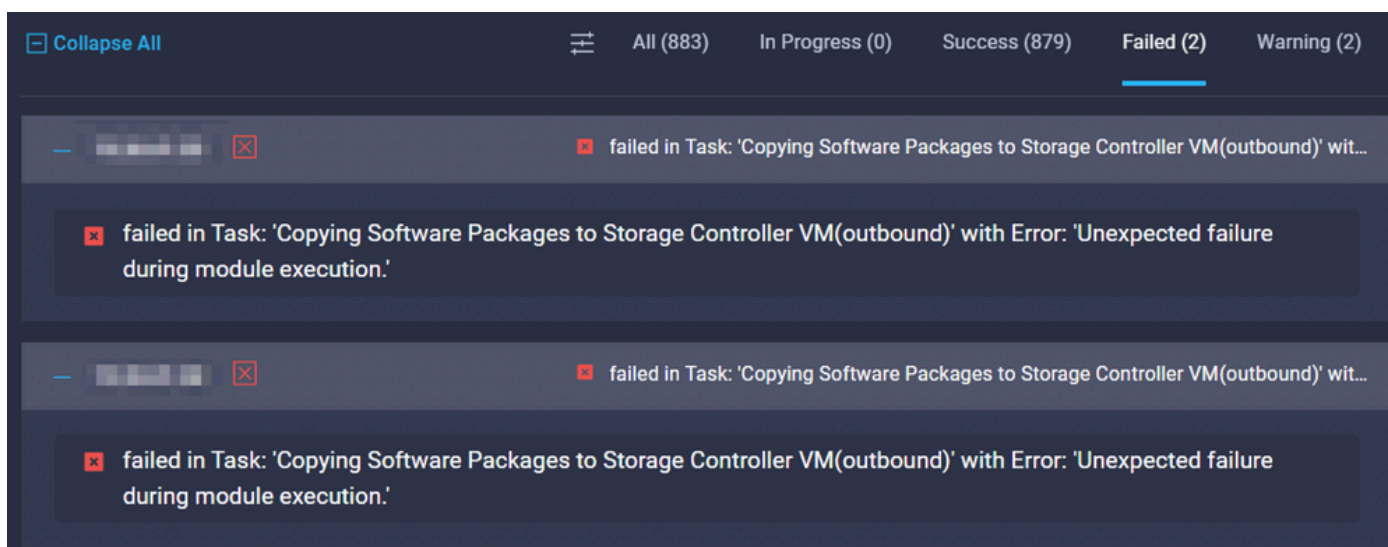
Action:

ジャンボフレームはすべてのパスで有効になっているわけではありません。ジャンボフレームが有効になっている場合は、アップリンクスイッチでMTU値9216を設定する必要があります。すべてのパスでMTUがジャンボフレームに設定されていることを確認し、ワークフローを再起動し

ます

失敗したタスク：ストレージコントローラVMへのソフトウェアパッケージのコピー

failed in Task: 'Copying Software Packages to Storage Controller VM(outbound)' with Error: 'Unexpected



Action:

- SCVMからIntersightへのネットワーク接続があることを確認します。
- 必要なポートがネットワークで許可されていることを確認します。
- ネットワークの要件については、「[インストール前のチェックリンク](#)」を参照してください。

## 関連情報

- [Hyperflexインストールの概要](#)
- [Hyperflexインストールガイド](#)
- [HX Data Platformのプレインストールチェックリスト](#)
- [テクニカル サポートとドキュメント - Cisco Systems](#)

## 翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。